

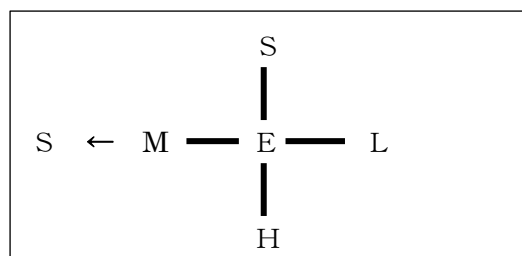
高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業 「市民の学習成果の発表の場提供事業」  
「危険予知！暮らしの中の危険に気づく力を身につけよう」を開催しました



平成28年12月15日、講師に梨野 哲さんをお迎えし、「危険予知！暮らしの中の危険に気づく力を身につけよう」の講座を開催しました。

梨野さんは、企業の安全衛生教育トレーナーとしてのご経験をもとに、家庭という身近なところにも潜んでいる、危険への気づき方をお話してくださいました。

- 【E】・・・Environment（環境）
- 【L】・・・Life（生活）
- 【S】・・・Soft（ソフト面・手順・流れ）
- 【H】・・・Hard（ハード面・形あるもの）
- 【M】・・・Man（人）



300件の怪我のない事故のうち、29件は、軽微な事故、そして1件は死亡事故に繋がるような重大事故が隠れているという統計があるそうです。（ハインリッヒの法則）

私たちの暮らし（環境）は、これらの調和がとれてこそ、事故や怪我がなく安全が保たれるそうです。人為的なミスや、些細な油断が、が大きな事故に繋がることもありますから、3K＝（快眠・快食・快便）、3R＝《Rest（休憩）・Recreation（気晴らし、娯楽、余暇、レジャーなど）・Relaxation（くつろぎ、安らぎ）》を実践して、危険を先取り＝事故防止をしましょうと、おっしゃっていました。

最後に、簡単な体操をしました。病気は、悪寒がする、倦怠感があるなど、予知できることもありますが、怪我は予知できません。身の回りの整理整頓、清掃を行い、心身ともに健康な毎日を心掛けましょう。そして、健康寿命を延ばしましょう！というお言葉で、講座が締めくくられました。

